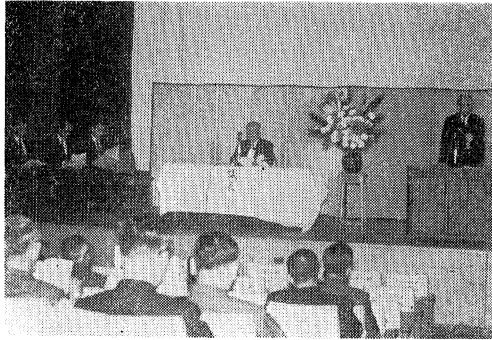


## 昭和46年春季大会

齋藤会長と握手する  
McPharson 氏



▶第25回通常総会

昭和46年5月20日(木)13:20~14:30  
東条会館ホールにおいて開催。

出席会員: 103名

委任状提出会員: 2,387名

(開催にさきだち出席会員数ならびに委任状提出会員数を報告, 昭和46年3月31日現在正会員数9,599名, 定款第18条による1/5以上の出席をもつて第25回通常総会が成立したことを報告。

齋藤会長のあいさつのち, 同会長議長となりつぎの議案を審議した。

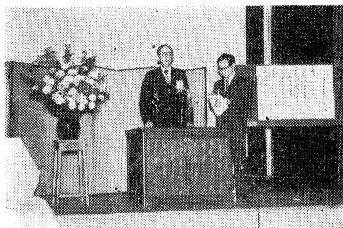
第1号議案: 昭和45年度事業報告の件  
本件, 稲川担当理事より配布された昭和45年度事業報告書にもとづき報告が行なわれ, 報告どおり確認された。

第2号議案: 昭和45年度決算報告の件  
本件, 藤田担当理事より報告が行なわれ, 報告どおり確認された。

つづいて池田監事より昭和45年度決算報告について監査の結果, 正確かつ適正に処理されている旨監査報告が行なわれた。

第3号議案: 昭和46年度事業計画の件  
本件, 志徳担当理事より昭和45年度事業計画について概要説明があり, 報告どおり確認された。

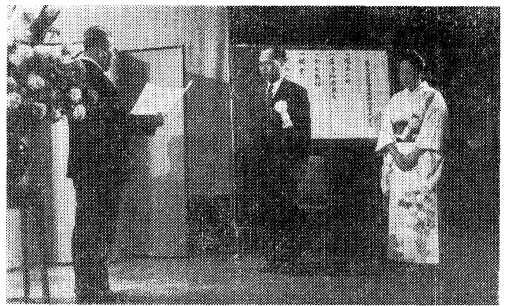
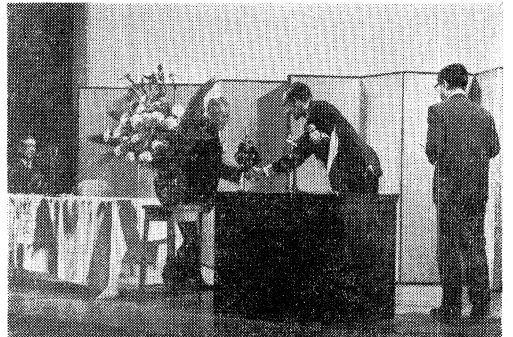
第4号議案: 昭和46年度予算に関する件。



McParson 氏

▲通常総会

技術会賞授賞式▶



本件, 北村理事より昭和46年度予算について説明が行なわれ, 報告どおり確認した。

以上, 全議案の確認が行なわれたのち齋藤議長の内会の辞により終了した。

総会終了後, 同会場において SAE of Australasia の代表 K. McPherson 氏が紹介され, 本会ならびに会員諸君であいさつが行なわれた。

### ▶第21回自動車技術会賞授賞式

昭和46年5月20日(木)14:40~15:05  
東条会館ホールにおいて開催。

授賞式にさきだち, 齋藤会長あいさつが行なわれたのち, 技術会賞審査委員会副委員長・福川秀夫氏より学術賞および技術賞の審査経過報告があり学術賞は今回該当者なく, 技術賞2件をつぎのとおり発表, 報告された。

なお, 今回の受賞者の一人である故杉浦慎三君はこの授賞式を待たずに他界されました。謹んで同君のごめい福をお祈りいたします。

#### <技術賞>

高性能自動車の開発

難波靖治君(日産自動車会社)

(授賞の理由)

自動車用エンジンの高性能および悪路高速走行の耐久性強化のために, エンジンのみならず車両全般にわたり多くの改

良を加え, さらに運行試験などによつてこれを実証された。

なお, 同君の主な業績をつぎに示す。

(1) 自動車用エンジンの改良

気象や海技の変化において性能向上, 中速トルクの増大と信頼性の向上, 標準仕様を改造し, 30%出力向上の極限性能の向上を実証し, 次期モデル開発の有効な技術資料を提供。

(2) 車両関係

リミテッドスリップデフの採用。ガス入りショックアブソーバの採用を可能にし, 悪路高速走行の耐久性向上やワイパーアームの改良により高速による浮上り防止, 前照灯の改良, タイヤの改善など。

(略歴)

昭和4年7月16日生れ。昭和23年多賀工業専門学校機械科卒業。同年日産自動車会社入社。昭和38年同社第1実験部第3車両実験課長, 同45年同社特殊車両部第1特殊車両課長。

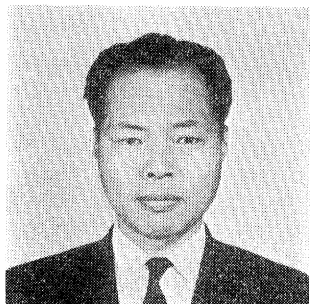
#### <技術賞>

電装品の設計開発を通じ, 自動車技術向上に貢献した永年の実績

杉浦慎三君(日立製作所)

(授賞の理由)

永年にわたりガソリン自動車および電気自動車の電装品の改良を行ない, 新技術を取り入れて多くの発明考案を加えて



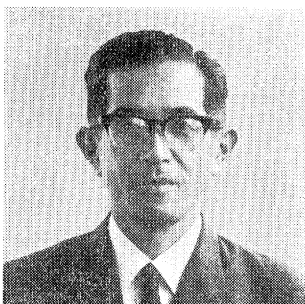
難波 培治君

製品化した。

なお、同君の主な業績をつぎに示す。  
登録された特許3件、実用新案16件。  
電気自動車は戦後23年に開発、設計、最近の公害問題から電気自動車がクローズアップして新型電気部品を装備した新型車を開発。カーボンパイル調整器の発明、真空進角内蔵式配電器の開発、パトロール車用低速充電発電機、南極観測車用低温スタータ開発、二輪車の小型内転型始動発電機の新設計、半導体の利用促進、冷暖房装置の発明、点火コイルの改良、標準化（単純化への協力）

（略歴）

大正8年4月19日生れ、昭和11年京都帝国大学電気科卒業、同18年日立製作所



故 杉浦 慎三君

多賀工場入社、同35年設計部電装設計課長、同39年電装設計部長、同42年副技師長、同44年検査部長に就任。4月13日審査委員会において授賞決定後、4月17日夜広島の出張先にて死去。

▶昭和45年春季学術講演会

昭和46年5月19日(水)、20日(木)の両日東条会館において三会場により開催。

第1会場：エンジン公害関係の講演が行なわれ講演番号711～7111(19日9:00～17:10)、7112～7116(20日9:00～12:10)

第2会場：エンジン公害7117～7120(19日9:30～11:40)、走行性能関係7121～7125(19日13:00～16:30)、および

振動騒音その他7126～7129(20日9:00～11:50)

第3会場：人間工学や安全関係をテーマに7130～7140(19日9:00～17:00)、車体・足まわり関係7141～7145(20日9:00～12:10)と

合計45の講演発表があった。

なお、座長には古浜庄一(武蔵工大)五味 努(上智大)、倉林俊雄(群馬大)、徐錫洪(JAR1)、柳原 茂(機技試)、斎藤孟(早大)、浜本嘉輔(京大)、景山克三(日大)、斎藤 安(東京農工大)、樋口健治(東京農工大)、井口雅一(東大)、林喜男(慶大)、佐藤 武(慶大)、古庄宏輔(ダイハツ)、酒井靖郎(日産)、大東俊一(京大)、小林節夫(日産)、兼重一郎(いすゞ)の各氏がそれぞれ担当された。

▶懇親会

昭和46年5月20日(木)18:00～19:30東条会館において開催。120余名の参加者があり盛会裡に終了した。

▶工場見学会

6班にわかれて開催された。

第1班：日産自動車・座間工場、トヨペットサービスセンター・綱島工場(参加者77名)

第2班：日本発条・木社工場、三菱自



懇親会

